

教科	種目	意見書	発行者
数学	数学		東京書籍

	着眼点	意見
1	(1) 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させる、学年内及び学年間の系統性・発展性	<ul style="list-style-type: none"> ○例と似た型の問題に「◆マーク」問題を位置づけたり、「基本問題」に学び直すページ・問題が明示されたりしており、早期につまづきに対応できるようによく工夫されている。 ○章の頭（2～3ページ目）に単元で学ぶ内容を大まかに網羅した問題を提示して予習などで学習し、それを解決するために本単元の学習が進んでいくという構成になっている。 ○計算の過程や図形の性質の解説において、矢印で補足説明したり、ポイントとなる箇所の色を変えたりするなど、考えの過程がわかりやすいようよく工夫されて示してある。
	(2) 思考力、判断力、表現力等を育む、言語活動や問題解決的な学習、体験的な学習	<ul style="list-style-type: none"> ○課題が「説明してみましよう」となっているものが多く、考えの根拠を明らかにして言語活動につなげる工夫がよくなされている。 ○「予想してみましよう」という問いかけが多く、自分の考えをもつ場面が位置付けられるようよく配慮されている。 ○「どこがまちがっているか説明し、正しく計算しなさい。」など、着目すべき視点を明らかにする問いかけがある。
2	(1) 学習意欲を喚起したり、学習の意義を社会や生活との関わりの中で実感したりすることができる題材や素材、資料等	<ul style="list-style-type: none"> ○章の途中に「深い学び」を位置付け、再度課題意識が喚起され、身についた知識技能を使って、自ら進めるようよく工夫されている。 ○節末の「数学のまど」や章末の「学びをひろげよう」で、社会で活用されている数学が紹介されており、学習の意義が実感できるようよく配慮されている。 ○生徒が書き込みをしながら学習したり、考えをメモしたりする余白があったりするなど、学習意欲の喚起への配慮がよくされている。
	(2) 課題の解決に向けて、自分で考え、自分で学習を進めることができる内容や構成	<ul style="list-style-type: none"> ○章末問題の解説に「考え方」が明記され自ら学習を進めたり、各単位時間の「問」が巻末の「補充の問題」にリンクされ、繰り返し学習したりできるようによく工夫されている。 ○「学習課題」から入り、1単位時間の指導のねらいを捉えやすくしたり、関数のグラフ・作図などは直接かき込みができるようにしたりなど、生徒が自ら学習に取り組みやすい配慮がよくされてある。 ○巻末「学びのつながり」に、学年の学習内容・既習事項がまとめてあり、家庭学習が自分で進められるようよく配慮されている。
3	コンピューター、情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用しているか。	<ul style="list-style-type: none"> ○シミュレーションがきめ細かく作られている。関数領域では、アナログのグラフだけでは説明しきれない動きがよく工夫されている。 ○図形領域では、様々なパターンで調べられるようになっていて、動画を見て数学的な見方・考え方が育つ工夫がよくされている。
4	(1) 教科書の重量やページ数	<ul style="list-style-type: none"> ○1年312ページ、2年250ページ、284ページ ○1年538g、2年424g、3年476g
	(2) 文字の大きさ、字間、書体、行間、図版等	<ul style="list-style-type: none"> ○見やすく適切な行間であり、余白を活かした紙面になっている。 ○実物や実際の場所などに限って写真が掲載されている。 ○黒字中心で文章・ポイントとなる部分が印字してあり、見やすい。
	(3) 上記以外の使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ○色の数や記号の形の数が少なくシンプルで極端な主張がないように配慮され、生徒の思考を途切れさせない工夫がよくなされている。 ○ポイントとなる部分にバランスの良い色が使われているが、それぞれに意味をもたせてあり、見やすい工夫がなされている。

教科	種目	意見書	発行者
数学	数学		大日本図書

	着眼点	意見
1	(1) 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させる、学年内及び学年間の系統性・発展性	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的に2ページで単位時間が完結するようにしてあり、学ぶことが見開きでわかるようによく工夫された構成になっている。 ○生徒自身が問題解決をできるよう考え方のヒントや解決の仕方の例が示してあり、数学的な考え方を育成できるようよく工夫された内容になっている。 ○練習問題が終わったあとには、「プラス・ワン」「補充問題」の問題に数多くに取り組みできるようにしており、知識や技能を確実に習得させるよう、よく工夫されている。
	(2) 思考力、判断力、表現力等を育む、言語活動や問題解決的な学習、体験的な学習	<ul style="list-style-type: none"> ○「どのようにして」「なぜですか」という問いかけが多く、生徒の思考を促し、考えの根拠を明らかにして言語活動につなげる工夫がなされている。 ○例題の前に「考え方」が示されていたり、ページの右欄に既習内容が「思い出そう」として挙げてあったりするなど、自分で考えを進めていくときの足場が位置づいている。
2	(1) 学習意欲を喚起したり、学習の意義を社会や生活との関わりの中で実感したりすることができる題材や素材、資料等	<ul style="list-style-type: none"> ○巻末の数学の世界へでは、読み物資料だけではなく、課題学習「数学を生かして考えよう」で学習した内容を活用して身の回りにある問題を実際に解きながら理解を深めることができる構成となっている。 ○単位時間の学習の中で、問題に対して異なる2つの考え方を紹介しながらより合理的な考え方をを見つけさせる構成となっており、興味・関心を喚起する工夫がなされている。
	(2) 課題の解決に向けて、自分で考え、自分で学習を進めることができる内容や構成	<ul style="list-style-type: none"> ○付録に既習内容や当学年で学習した内容がわかりやすく整理されており、家庭でも理解を確かめられるよう工夫されている。 ○本文では、例題の解答が最後まで丁寧に記載されていたり、「思い出そう」で既習事項を想起させたり、「問」に入る前に「たしかめQ」で新しく学習した内容を確かめたり、発展問題のプラスワンの解答がすぐ次のページに記載されていたり、自分の力で学習を進められるようよく工夫されている。
3	コンピューター、情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用しているか。	<ul style="list-style-type: none"> ○シミュレーションは、考えるきっかけにしたり、学習内容を確認したりすることを前提に作成されている。 ○学習内容に関連する仕事をしている人へのインタビューを見ることができる。
4	(1) 教科書の重量やページ数	1年生324ページ 2年生250ページ 3年生302ページ 1年生550g 2年生420g 3年生510g
	(2) 文字の大きさ、字間、書体、行間、図版等	<ul style="list-style-type: none"> ○見やすいユニバーサルフォントである。 ○見やすく適切な行間である。
	(3) 上記以外の使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ○数学用語の索引が多く、用語をもとに基礎的・基本的な知識・技能の定着につなげることができる。

教科	種目	意見書	発行者
数学	数学		学校図書

	着眼点	意見
1	(1) 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させる、学年内及び学年間の系統性・発展性	<ul style="list-style-type: none"> ○単元のはじめのページまたは単位時間の終末には、「次の課題へ」が示されており、新たな課題へ向かえるよう、よく工夫された構成になっている。 ○章末問題は、「基本」「応用」「活用」の3つの段階があり、個に応じた学力がつくよう、よく工夫されている。
	(2) 思考力、判断力、表現力等を育む、言語活動や問題解決的な学習、体験的な学習	<ul style="list-style-type: none"> ○「どのように」「次の2つの方法で調べてみましょう」「正しいといえるでしょうか」という問いかけがあり、取り組むべきことが明確にわかるよう、よく配慮されている。 ○ページの右欄に学習過程で働かせる「見方・考え方」が示されることで、思考の進め方を生徒が把握できるように工夫されている。 ○単位時間の学習で、問題が提示された後に拓真さんと美月さんが気付きを促す会話をしたり、異なった2つの考え方を提示してより合理的な考え方をを見つける道標を示したりする構成となっており、関心・意欲を喚起する工夫がなされている。
2	(1) 学習意欲を喚起したり、学習の意義を社会や生活との関わりの中で実感したりすることができる題材や素材、資料等	<ul style="list-style-type: none"> ○巻末の「さらなる数学へ」のページでは、身近にある問題を数学的に考える学習素材が用意されており、さらに協働的な学習を促す構成となっていて生徒の対話的な学習意欲を喚起する工夫がなされている。 ○「役立つ数学」では、数学を実際に役立てている職業の説明をするなど、数学を学ぶ意欲を喚起する工夫がされている。
	(2) 課題の解決に向けて、自分で考え、自分で学習を進めることができる内容や構成	<ul style="list-style-type: none"> ○単元の終わりに「できるようになったこと」→「役立つ数学」→「深めよう」の構成で、自らの学びを振り返り、学びを方向づけることで、学びに向かう心も育成できるようよく配慮されている。 ○本文には「TeaBreak」、巻末には「さらなる数学へ」など、生徒の興味関心に合わせて発展的に考えられるような工夫がされている。
3	コンピューター、情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用しているか。	<ul style="list-style-type: none"> ○学習に関連するホームページへのリンクが用意されており、プログラミング学習にも対応している ○図形分野を中心にデジタルコンテンツが用意されており、作図動画など視覚的に学習内容を捉えやすくする工夫がなされている。
4	(1) 教科書の重量やページ数	<p>1年生 316ページ 2年生 270ページ 3年生 310ページ</p> <p>1年生 554g 2年生 476g 3年生 542g</p>
	(2) 文字の大きさ、字間、書体、行間、図版等	<ul style="list-style-type: none"> ○見やすいユニバーサルフォントである。 ○單元ごとにカラーインデックスが施されており、扱いやすい。 ○分数などが組み合わさったときに、適宜行間を開けてあり見やすく工夫されている。
	(3) 上記以外の使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書裏表紙に、対話的な活動を促すホワイトボード用のペンで書くことができるページが付帯されている。

教科	種目	意見書	発行者
数学	数学		教育出版

	着眼点	意見
1	(1) 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させる、学年内及び学年間の系統性・発展性	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着の支えになるように、新しく学んだ学習内容を、「たしかめ」問題を行ってから練習問題へ取り組めるよう工夫された構成になっている。 ○単位時間の学習でも随所に「もどって確認」が位置づいており、単元または領域の学習内容を想起できるよう工夫された内容となっている。 ○単元のはじめにその単元の学習につながる既習問題を行うページがあり、系統的に理解ができるよう工夫されている。
	(2) 思考力、判断力、表現力等を育む、言語活動や問題解決的な学習、体験的な学習	<ul style="list-style-type: none"> ○数学の学習で身につけさせたい数学的な考え方が巻頭に分かりやすくまとめてあり、半開きにすることによって単位時間の学習で利用しやすいよう、よく工夫されている。 ○各単位時間では、どのような数学的な考え方をいれればよいかページ右端に具体的に示されており、生徒の理解を深めるよう、よく配慮されている。 ○各単元の活用問題の節では、それまでの学習内容がよりうまく活用できるよう問題解決の道筋が小問に分けてあり、思考の流れに沿って主体的に解決できるよう、よく工夫されている。
2	(1) 学習意欲を喚起したり、学習の意義を社会や生活との関わりの中で実感したりすることができる題材や素材、資料等	<ul style="list-style-type: none"> ○章の導入の場面で、単元で学ぶ学習内容が社会でどのように生きるか、生かされているかがわかりやすく説明されている。 ○「Let's Try」で扱われている素材が、数学的な事象として捉えやすいものであり、その後の単元の学習内容とよく関連づけてある。 ○学んだことを巻末の「数学の広場」において、社会の中で活用されていることが問いとなって活用できる構成となっており、より数学を学習することの必要性や意義を実感できるようよく工夫されている。
	(2) 課題の解決に向けて、自分で考え、自分で学習を進めることができる内容や構成	<ul style="list-style-type: none"> ○単元の学習のまとめが1ページに示されており、自学自習に生かしやすいようよく工夫されている。 ○章末問題では、問題のはじめに「・・・ができますか」と問いかけ、何を確かめ、振り返るとよいかによりわかるようによく工夫されている。 ○単位時間の例題にタイトルが明記されており、活用問題の学び直しが行いやすくなっている。
3	コンピューター、情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用しているか。	<ul style="list-style-type: none"> ○「学びリンク」に、動画やアニメーション、作図問題、さらに練習問題等のコンテンツがあり、家庭学習等に活用できるようになっている。 ○学習に関連するホームページへのリンクが用意されている。
4	(1) 教科書の重量やページ数	<p>1年生 332ページ 2年生 280ページ 3年生 306ページ</p> <p>1年生 574g 2年生 476g 3年生 518g</p>
	(2) 文字の大きさ、字間、書体、行間、図版等	<ul style="list-style-type: none"> ○見やすいユニバーサルデザインフォントである。 ○見やすく適切な行間である。 ○絵よりも実物の方が数学的に捉えやすい事象のみ写真が利用されている。
	(3) 上記以外の使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ○練習問題や解答等のページが少ない色彩で見やすく取り組みやすい。

教科	種目	意見書	発行者
数学	数学		啓林館

	着眼点	意見
1	(1) 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させる、学年内及び学年間の系統性・発展性	<ul style="list-style-type: none"> ○「みんなで学ぼう編」「自分から学ぼう編」の2部構成になっており、個に応じた学力がつくよう工夫された構成になっている。 ○利用の問題では、「ステップ」を1～3に設定し、解いた問題をさらに発展させることができるようよく工夫された内容になっている。
	(2) 思考力、判断力、表現力等を育む、言語活動や問題解決的な学習、体験的な学習	<ul style="list-style-type: none"> ○各単位時間のタイトルの下に、本時学ぶことを明記することで、何について考えていけばいいのかを生徒が把握して学習を進められるようになっている。 ○既習内容が「ふりかえり」として示されており、思考を進める足場が位置付けられている。 ○「誤答例」を示すことで、本時の学びを振り返るとともに、どこが違うのか話し合うように工夫されている。
2	(1) 学習意欲を喚起したり、学習の意義を社会や生活との関わりの中で実感したりすることができる題材や素材、資料等	<ul style="list-style-type: none"> ○それぞれの単元の「利用場面」において、普段の生活の中で身近にあることを問題とし、会話付きの挿絵等も使いながらステップに分けて考えやすくしてある。 ○巻末の「学びをいかそう」では、その学年の学習内容が実生活の中でどのように生かされているかや他学年の学習内容とどうつながっているかが紹介されており、数学的な事象に関する興味・関心を引く構成になっている。
	(2) 課題の解決に向けて、自分で考え、自分で学習を進めることができる内容や構成	<ul style="list-style-type: none"> ○章末では「学びを確かめよう」→「学びを身につけよう」、さらに巻末には「力をつけよう」→「学びをいかそう」と細かくステップを分け、問題数も充実しており、自分で主体的に学習を進めていけるよう、よく配慮されている。 ○「学びを確かめよう」では、何を学習したのか明確に示してあり、学びを自己評価できるよう、よく工夫されている。
3	コンピューター、情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用しているか。	<ul style="list-style-type: none"> ○すべての章にコンテンツがあり、基本問題から発展問題まで充実している。 ○使い勝手の良いシミュレーションがある。 ○章末問題などの解答があり、ヒントが用意されている。
4	(1) 教科書の重量やページ数	1年生 336 ページ 2年生 264 ページ 3年生 320 ページ 1年生 546 g 2年生 434 g 3年生 516 g
	(2) 文字の大きさ、字間、書体、行間、図版等	<ul style="list-style-type: none"> ○見やすく適切な行間である。 ○ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ○文章の意味が理解しやすいように、意味ごとに改行している。
	(3) 上記以外の使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ○色彩：茶やクリーム色やグリーンなど、落ち着いた色彩である。 ○表紙など手触りがいい材質になっている。

教科	種目	意見書	発行者
数学	数学		数研出版

	着眼点	意見
1	(1) 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させる、学年内及び学年間の系統性・発展性	<ul style="list-style-type: none"> ○各章の学習に入る前に、その章に関する既習事項を確認できるように工夫されている。 ○生徒や先生の対話を多く取り入れることで考え方のヒントや多様な意見を参考にできるよう工夫された内容になっている。 ○キャラクターを多く登場させることで生徒に特に学ばせたいことを示し、学習内容の定着が図れるよう工夫されている。
	(2) 思考力、判断力、表現力等を育む、言語活動や問題解決的な学習、体験的な学習	<ul style="list-style-type: none"> ○各単位時間のタイトルの下に、本時学ぶことを明記することで、何について考えていけばいいのかを生徒が把握して学習を進められるようになっている。 ○計算の過程が説明してあったり、思考を進める流れが対話形式で示されていたりするなど、自分の考えをもつための手立てが工夫されている。
2	(1) 学習意欲を喚起したり、学習の意義を社会や生活との関わりの中で実感したりすることができる題材や素材、資料等	<ul style="list-style-type: none"> ○章の導入で、その章の学習内容に関連する実生活場面での問題が用意されており、その問題が単元のどこかの時間の学習で解決できるような、学習意欲を喚起する構成になっている。 ○章末の「考えよう」や「調べよう」のページでは、その章の学習内容が活用されている実生活に関連する題材が紹介されており、より詳しい資料がQRコードで閲覧できる仕組みになっている。
	(2) 課題の解決に向けて、自分で考え、自分で学習を進めることができる内容や構成	<ul style="list-style-type: none"> ○利用や活用の問題解決学習では、登場人物の生徒が会話しながら解決しており、対話的に解決ができる工夫がある。また解決につながる教師の発問も示されており、数学的な見方考え方を焦点化できるような配慮がよくなされている。 ○教科書の発展問題や活用問題に取り組むときには、解決のプロセスがわかる別冊の「探究ノート」があり、問題解決の力が高まるようよく工夫されている。
3	コンピューター、情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用しているか。	<ul style="list-style-type: none"> ○図形領域・関数領域などすべての章のコンテンツが充実している。 ○フラッシュカードのように使えるコンテンツが各章にある ○全国学調の過去問へのリンクが用意されている
4	(1) 教科書の重量やページ数	1年生 312 ページ 2年生 254 ページ 3年生 312 ページ 1年生 518 g 2年生 426 g 3年生 520 g
	(2) 文字の大きさ、字間、書体、行間、図版等	<ul style="list-style-type: none"> ○見やすく適切な行間である。 ○単元のはじめや生活場面に関わる学習など、特に興味・関心を引き出したいページに限り、写真が掲載されている。
	(3) 上記以外の使用上の便宜	○表・式・グラフの特徴や図形の性質などが、数種類の色を使って分かりやすくまとめられている。

教科	種目	意見書	発行者
数学	数学		日本文教出版

	着眼点	意見
1	(1) 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させる、学年内及び学年間の系統性・発展性	<ul style="list-style-type: none"> ○章の初めには、「次の章を学ぶ前に」のページを位置づけ、必要な知識・技能を確認し、既習事項を生かすことができるよう、よく工夫された構成になっている。 ○高校で学習する内容を発展問題として位置づけることで、系統的かつ発展的な問題に取り組み、力がつけられるよう工夫されている。
	(2) 思考力、判断力、表現力等を育む、言語活動や問題解決的な学習、体験的な学習	<ul style="list-style-type: none"> ○ページの右欄に、その学習過程で働かせる「大切な見方・考え方」が示されることで、どのように思考を進めていけばよいかを生徒が把握できるよう、よく工夫されている。 ○章末「取り組んでみよう」の中に「説明できるかな？」という問題を位置付け、本単元で学んだことを言語活動によって確認・定着させ工夫がなされている。 ○巻末に対話シートが用意されており、生徒間での積極的な対話的な活動を促しながら理解を深めるよう、よく工夫されている。
2	(1) 学習意欲を喚起したり、学習の意義を社会や生活との関わりの中で実感したりすることができる題材や素材、資料等	<ul style="list-style-type: none"> ○単元の中の学習内容を活用して問題を解くページで、「やってみよう（発展 高校数学）」が用意されており、問題の紹介だけで終わらず実際に問題を解いて、高校での数学の学習に向けて意欲を高める構成になっている。 ○各章に設けた数学のたんけん」や巻末の「数学を仕事に生かす」「くらしと数学」では、生活や社会の中で数学が役立っている事例を紹介し学習意義を実感できるように工夫されている。
	(2) 課題の解決に向けて、自分で考え、自分で学習を進めることができる内容や構成	<ul style="list-style-type: none"> ○すべての章にデジタルコンテンツが準備されており、基本問題から発展問題まで充実しているので自分の定着度に合わせて学習が進められるように工夫されている。 ○「誤答に注意」と注意喚起をしたり「まちがえやすい問題」で典型的な誤答例を示すことで、自分で苦手な問題を克服できるよう工夫がされている。
3	コンピューター、情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用しているか。	<ul style="list-style-type: none"> ○シミュレーションが、教師が授業で使うことを前提に作られている ○フラッシュカードのように使えるコンテンツが多く準備されている ○Scratchを活用したプログラミング学習がすぐに行えるようになっている
4	(1) 教科書の重量やページ数	<p>1年生 324 ページ 2年生 254 ページ 3年生 296 ページ</p> <p>1年生 548 g 2年生 418 g 3年生 486 g</p>
	(2) 文字の大きさ、字間、書体、行間、図版等	<ul style="list-style-type: none"> ○見やすいユニバーサルデザインフォントである。 ○見やすく適切な行間である。 ○写真の掲載は必要最低限に抑えてある。
	(3) 上記以外の使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ○まとめや用語の説明などは、色を付けた枠内に書かれている。